

令和 8 年 1 月 14 日

**宮城県上工下水一体官民連携運営事業
モニタリング結果半期報告書
(令和 7 年度上半期)**

宮城県企業局水道経営課

実施契約書第 69 条第 1 項に基づき実施した、宮城県上工下水一体官民連携運営事業の運営状況に係る令和 7 年度上半期のモニタリング結果は下記のとおりです。

記

1 年間事業計画に対する実績の差異

(1) 経営に係る業務

- ・ 概ね計画通りに進捗していることを確認した。
- ・ 収支について、臨時改定、水量増加（収入増）及び経費削減効果等によって計画時の想定よりも良好であり、事業継続の観点で好影響が見られている。

(2) 維持管理に係る業務

- ・ 概ね計画通りに業務が実施されたことを確認した。
- ・ 運転管理上の不備が発生した際には、県と連携して適切な対応がとられているほか、原因調査、手順の見直し及び教育の実施等、再発防止のための取組がなされている。
- ・ 保守点検において発見された施設の不具合等に対しては、運転管理に支障が生じないよう保全や修繕等の処置が適切に行われている。
- ・ 今夏の猛暑や渇水等の影響により、水源におけるカビ臭原因物質の濃度が過去に例を見ない水準まで上昇し、原水の水質が著しく悪化したが、夜間を含めた水質検査体制の確保により、要求水準を遵守した運転管理が行われている。

(3) 改築に係る業務

- ・ 概ね計画通りに業務が実施されたことを確認した。
- ・ 運転側の水運用計画との調整や、発注工事の機器納期と電気設備切替時期の兼ね合いにより完成時期の見直しが生じた際にも、適切に県に報告し対応している。
- ・ 維持管理業務から得られた知見及び健全度調査を踏まえ、施設の状態に応じた改築時期の見直しを行うなど、更新投資の最適化にも継続的に取り組まれている。

(4) 危機管理に係る業務

- ・ 概ね計画通りに業務が実施されたことを確認した。
- ・ 県及び市町村と連携した災害対応訓練や BCP 運用訓練の実施など、有事に備えた対応力の強化に継続的に取り組まれている。

2 財務数値及び財務指標

法人の財務数値及び財務指標並びに個別事業の財務数値とも異常値は見られず、健全な財務状況が保たれている。

3 県民等とのコミュニケーションに関する実施内容

様々な媒体を通じた積極的な広報活動が行われており、要求水準書に規定する事項が実施されていることを確認した。

4 課題認識と下半期の見通し

(1) 法人全体

- ・ 概ね計画通りに進捗する予定である。
- ・ 収支に関して、概ね計画通りに進捗しており、年間を通して計画通りの利益が見込まれるなど、財務見通しは良好である。

(2) 水道用水供給事業

- ・ 概ね計画通りの進捗が得られる予定である。
- ・ 上半期から引き続き原水等の水質管理体制の強化や最適化に取り組むなど、水質の更なる安定化が期待される。
- ・ 施設の更新工事に伴い適宜関係者と情報共有を図るほか送水量の調整を行い、不測の水量不足等の発生防止に努める。

(3) 工業用水道事業

- ・ 概ね計画通りの進捗が得られる予定である。
- ・ 下半期についても、契約水量が変動する可能性があるため、県と連絡を密に対応していくことが期待される。

(4) 流域下水道事業

- ・ 概ね計画通りの進捗が得られる予定である。
- ・ 下半期についても施設の状況に応じた改築時期の前倒しのほか、設備設置環境の改善に取り組むなど、更新投資の最適化が期待される。

(5) みずむすびサービスみやぎ（維持管理会社）

- ・ 概ね計画通りに進捗する予定である。
- ・ 電力費等の物価上昇等厳しい経営環境にあったが、経費削減等の効果により、健全な財務状況が保たれている。
- ・ 下半期についても引き続き、電力費等の維持管理コストの増大等に対する経営安定化の取組が期待される。

5 所見

年間を通して概ね計画通りの運営がなされる見込みである。

運営権者においては、原水水質の悪化や天候の影響、施設の突発的な不具合等があった場合でも安定した事業運営が行えるよう、引き続き技術力や危機対応能力の向上、関係機関との連携体制の強化に取り組まれない。

任意事業において、小水力発電事業者が独断で受水自治体へ水量変更の調整を行った事案が発生し、小水力発電事業者に対する運営権者のガバナンス上の不備を指摘する事象などが発生していることから、県としても引き続き運営権者との連携を密に積極的な助言・指導を行い、安定的な事業運営の確立に努力していく。

6 添付資料

・令和7年度半期・第2四半期業務報告書（法人・個別事業統合版）

〔令和7年11月13日 株式会社みずむすびマネジメントみやぎ〕

以上